

一次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

この問題は著作権の都合により掲載できませんでした。

2

1

問一 傍線部①～⑤のカタカナにあたる漢字を使用する言葉として最も適当なものを、次の各群の1～4のうちからそれぞれ一つずつ選択し、その番号をマークしなさい。解答番号は **1** ～ **5** です。

- | | | | | |
|--|--|--|--|--|
| <p>⑤ 5 イ植</p> <p>4 3 2 1</p> <p>物産のスイイを表にまよめる
イルイの整理を行う</p> | <p>③ 3 オオツて</p> <p>4 3 2 1</p> <p>種をまいたところにフクドを行う
フクヘイのような進手が活躍する
温暖化のフクジの影響がある</p> | <p>① 1 コウ学</p> <p>4 3 2 1</p> <p>新しい国際観がシェウコウする
コウジョウ的な防災対策
江戸時代のメイコウが作った刀
地域活性化の標語をコウボする</p> | <p>② 2 ギ人</p> <p>4 3 2 1</p> <p>ギオン語で表現する
怒りでギシキを繰り返す
特殊ギギに対し注意喚起する
ギゼン的な行為が気にかかる</p> | <p>④ 4 一セイ</p> <p>4 3 2 1</p> <p>セイドウ器が発端される
選手センセイを行う
夜空に見える美しいセイダン
校歌をセイシヨウする</p> |
|--|--|--|--|--|

4

(佐藤俊樹「板が創った『日本』」による 原文の一部を省略・改変してある)

- (注)
- 1 クロイン羊ドリー：一九九六年にイギリスの研究所で誕生した世界初のクロイン羊。
 - 2 渋谷の金王様：東京都渋谷区金王八幡宮にある様。江戸の三十三板の一つで、天然記念物に指定されている。
 - 3 メタファー：(る)：理解しやすいように別のものに置き換えられる。
 - 4 岩崎文雄：日本の農学博士。
 - 5 白山の白旗板：東京都文京区の白山神社の板。

3

問二 傍線部(a)・(b)の意味として最も適当なものを、次の各群の1～4のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は6・7です。

- (a) いきおい
6
1 結果として
2 思い切つて
3 停滞して
4 動機として
- (b) うたれた
7
1 ひっそりと宣伝された
2 うわさを立てられた
3 名前をつけられた
4 さかんにほめられた

問三 空欄 1～3 に入れる言葉として最も適当なものを、次の1～5のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。ただし、同じ言葉を二回以上選ぶてはいけません。解答番号は8・10です。

- 1 原型 2 歴史 3 目印 4 複製 5 個体

問四 傍線部(1)「代々」とあるが、次のうち、傍線部の読み方がこの「代」と異なるものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は11です。

- 1 上代の文化を学ぶ。
2 組合の総代を務める。
3 欄代に合わせて貼る。
4 材料を代用する。

問五 傍線部(2)「実はこれは名前のいたずらにすぎない」とあるが、どういふことか。その説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は12です。

- 1 ソメイヨシノは、特定の樹につけられた名前の名前であり、種子によって似た樹をふやせる点では他の種の桜と同じ集団に属しているため、「二人ぼち」という表現はただの冗談であるということ。
2 ソメイヨシノは、その種まからできた樹がソメイヨシノとは別の品種に分類されるだけで、他の種の桜と同様に交配によって種を作ることが可能であるため、「二人ぼち」という表現は誇張であるということ。
3 ソメイヨシノは、かつて存在した特定の樹につけられた名前であり、現在のソメイヨシノはどれも本来はソメイヨシノではない似た樹でしかないため、「二人ぼち」という表現はそもそも間違っているということ。
4 ソメイヨシノは、種子からソメイヨシノとよべる同じ樹を育てることはできないだけで、挿木や接木によって他の種よりも非常に多く存在しているため、「二人ぼち」という表現は虚構であるということ。

問六 傍線部(3)「その春のイメージにもこのソメイヨシノの特性は深く関わっている」とは、どういうことか。その説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は13です。

- 1 ソメイヨシノは種ではなくクローンでふえるため、他の種よりも容易に日本全国に広がりやすく、どの地域でも一面が桜色になる春の景色を見ることができるといふこと。
2 遺伝子的には同じでも形質には細かいたちがあるソメイヨシノの性質によって、一度に開花しながら視点によってさまざまな味わいがある重厚な春の景色がふくらんでいるといふこと。
3 すべてクローンで形状やさまざまな特徴がほぼ同じになるソメイヨシノの性質によって、同じ地域の樹がほぼ同時に開花し、桜埋め尽くされたような春の景色がふり出されるといふこと。
4 ソメイヨシノは同じ樹の遺伝子を引き継ぐため、性質にずっと変化がないといふ特徴をもつので、長い年月にわたって桜が一度に咲き誇る春の景色も人々の印象に刻み続けられているといふこと。

問七 空欄 A に入れる言葉として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は14です。

- 1 真に受ける
2 間がもてない
3 異を唱えらるる
4 あたりがつけられる

問八 傍線部(4)「花見のあり方」とあるが、江戸時代と、現代の花見のあり方の説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は15です。

- 1 江戸時代も現代も群衆が多数の桜のそばで宴会をするのは共通しているものの、江戸時代は一ヶ月間あらゆる種の開花時期や変化を把握する学術的な難しさがあり、現代は一般的ソメイヨシノの情報を簡単に入手して自由気ままに鑑賞する楽しみがあるといふ違いがある。
2 江戸時代には一本桜を詩的に鑑賞するあり方と多様な種の群衆を時期によって場所を変えて宴会して楽しむあり方二つがあったが、ソメイヨシノの群衆の花見しかはばない現代は必然的にソメイヨシノに熱狂するさとしが日常を忘れないようになっている。
3 江戸時代は短期間咲く種が一般的で、その種の群衆を大人数で飲食して鑑賞することをしばらくの間楽しめたが、現代は短期間しか咲かないソメイヨシノが一般的で、大団に密集するなかな大人数が押し寄せて好き勝手に鑑賞するため、殺伐した雰囲気になる傾向がある。
4 江戸時代も現代も花見の文化があることは同じだが、江戸時代は多様な種の桜がやや異なる時期に咲くため長い期間にわたって桜を楽しんでいた一方で、現代はソメイヨシノ一種だけであるため短期間に必死に焦燥感を抱きながら見る雰囲気になっている。

問九 本文の内容と合致するものを次の1～6のうちから二つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は16です。

- 1 日本語には、ソメイヨシノをはじめとする桜を人間に見立てる表現が数多くあり、桜を文章や会話に用いることが当然となっている日本語の特徴から長きにわたる桜と日本人の深い関係がうかがえる。
2 桜は、同じ樹の間で交配することによってしまつた同じ遺伝子の種を残すことはできず、そのような交配でふえている桜は、一本一本の生育に莫大な時間がかかるため、一般的の存在にはならない。
3 ソメイヨシノが開花宣言の基準木になるのは全国八割を占めているのが最大の理由であり、ソメイヨシノよりも一本一本が均質に開花する種であっても基準木として使うと違和感があるため採用されていない。
4 寺社の境内に咲いている一本桜は、その桜がどういった物語をもつのかという伝承と切り離すことができないものも多く、花見をするときもその伝承を心に思い描いて花をじっくり鑑賞するのが基本であった。
5 種子で育つ自生種と比較して、クローンでふえるソメイヨシノは不自然で系統が確かでないといふ考え方は、自生種の方別の樹の遺伝子がまざって元の樹が不明になっていく事実を無視しており、違和感がある。
6 ソメイヨシノはもともと一本の樹ではないことがその形状をよく観察することで推測されるが、そうした個性を共有していることで、日本全国の春の風景についてより深いイメージをもつことができるようになる。

大問二(古文)・三(現代文)は選択問題です。解答するいずれかの大問の解答欄の右上に必ずマークした上で解答しなさい。
両方の大問に解答した場合、すべての解答が無効となります。

二 次の文書は、鎌倉時代に成立した説話集「沙石集」の一話です。これを読んで、後の問いに答えなさい。原文の一部を改変してある。

洛陽に、ある名僧、請用して、布施多く取りて帰ける道に、強盗ども待ちかけて、ある程みな取りてけり。供奉、四方へ逃がせぬ。強盗の張本、矢をばけて、奥の前に立ちて、「相取りたる者のばさんしける程に、この僧、奥の中に思へるは、「信心の施主、三室に供養する心を以て、布施物を捧ぐ、我れ、是をもて、仏事に、利益にも、用ゐんとするに、この賊、横さまに押し取る罪障、殊に重かるべし。流世の業こそ多かるに、罪なくして世を渡る業をもせよかし。愚かなる心、因果をもへず。当来の苦患を知らず、一旦の利の毒に大罪を造る事を浅く見て、我が難にあへる事は覚えす。ただ、彼等が当来の苦を悲みて、心澄まして、「何ぞ電光朝露の少時の身の為に、阿僧祇那長時の苦因を造らんや」と、澄める声を以て、打ちあげて、阿三遍申し詠む。心は知らねども、何となく貴く覺えて、身の毛もたぢれば、矢さし外へ「これ程の難にあはせ給ひたるに、何事を、御心澄まして仰せられ候ふ」と云へば、この僧、本より弁説の人なれば、生死無常の道理を、申される。「一期は夢の如く、電光の如く、朝露の如くして、百年の轉も、ただ一夜の轉の如し。かかる僧かの世を渡らん為に、三室の物を取りて、多百千劫の間、泥梨に沈みて、浮かび難き事を各々する事、受けがたき人を受け、進み難き仏法に逢ひて、多くこそ渡世の業はある、この事を以て、一期の難とせるが、愚かなる事の、不便に定ゆるなり」と、泣く泣く口返り申されければ、この強盗も袖をしぼりて、夜明け方になれば帰りぬ。

(注)

- 1 洛陽：京都。
- 2 請用して：仏事に招かれて。
- 3 布施：仏事のお礼として僧侶へ渡す金銭。
- 4 供奉：お供の者。
- 5 張本：かしら。首謀者。
- 6 相取りたる者：僧から布施を奪った者。
- 7 のばさんとしける程に：進もうとしたところに。

9

- 8 三寶：仏教の三つの宝である。仏、法、僧。
- 9 利益：徳者のためになること。
- 10 当来：来世。
- 11 電光：稲妻。
- 12 阿僧祇那：数えきれないほど数が多い。
- 13 多百千劫の間：気が遠くなるほど長い間。
- 14 泥梨：地獄。

問一 傍線部(a)・(c)の意味として最も適当なものを、次の各群の1～4のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は1～3です。

- (a) 用ゐんと思へるに
- | | |
|---|---------------|
| 1 | 不用だと考えたところに |
| 2 | 使えないと思つてゐるのに |
| 3 | 悪用しようと考えたところに |
| 4 | 役立てようと思つてゐるのに |
- (b) 殊に重かるべし
- | | |
|---|------------|
| 1 | 特に重いだろう |
| 2 | もちろん重いはずだ |
| 3 | とりけ重くしてほしい |
| 4 | 当然重くあつてほしい |
- (c) かかる僧かの世
- | | |
|---|--------------|
| 1 | このようなめずらしい世間 |
| 2 | これほど苦しい現世 |
| 3 | こうして大切な世間 |
| 4 | このようなかき世 |

10

問二 傍線部ア「給ひ」・イ「仰せられ」の説明として最も適当なものを、次の各群の1～4のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は4・5です。

- ア 給ひ
- | | |
|---|----------------------------|
| 1 | 八行上二段活用動詞の未然形で、謙譲の補助動詞である。 |
| 2 | 八行上二段活用動詞の連用形で、尊敬の補助動詞である。 |
| 3 | 八行四段活用動詞の未然形で、謙譲の補助動詞である。 |
| 4 | 八行四段活用動詞の連用形で、尊敬の補助動詞である。 |

- イ 仰せられ
- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | ラ行四段活用動詞の未然形で、尊敬の意を表す。 |
| 2 | ラ行四段活用動詞の連用形で、謙譲の意を表す。 |
| 3 | ラ行下二段活用動詞の連用形で、尊敬の意を表す。 |
| 4 | ラ行下二段活用動詞の未然形で、謙譲の意を表す。 |

問三 傍線部(1)「何ぞ電光朝露の少時の身の為に、阿僧祇那長時の苦因を造らんや」とあるが、その解釈として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は6です。

- 1 あなたたちが「一時的な利益を得るために、世間の多くの人を長い年月にわたって苦しめるのは決して許されない。
- 2 あなたたちがほんの少しの間満足できたなら、私が来世まで長きにわたって苦しむことになる。
- 3 私のようなどうでもよい者が責められることで、世間の多くの人を長い年月の苦しみから救われるならよい。
- 4 私のようにつまらない者を責めたせいで、あなたたちが来世で長く苦痛を受けることになるのは決してよくない。

問四 傍線部(2)「何となく貴く覺えて、身の毛もたぢれば」とあるが、この部分の説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は7です。

- 1 強盗のかしら、名僧の心の落ち着いた様子を尊く感じて、恐怖さへ感じている。
- 2 強盗のかしら、名僧の唱える言葉の意味を知つて尊いものだと思ひ、感動している。
- 3 強盗たちが、名僧の心の清かさを尊く思い、かしの怒りを恐ろしく感じてゐる。
- 4 強盗たちが、名僧の唱える言葉の真意を尊く思い、かしの怒りに感動している。

問五 傍線部(3)「不便に覺ゆるなり」とあるが、どのようなことを「不便」だと思つてゐるのか。その説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は8です。

- 1 人間として生まれ、この世を生きたための特技や能力はたくさんあるのに、愚かな仏のせい、強盗としての才能を与えられたこと。
- 2 生を受けることは貴重で、この世で出会うことは奇跡なのに、愚かなせいでそれに気づかず、強盗としてその人間の命を脅かしていること。
- 3 この世に生を受けた人間には多くの出会いがあるのに、愚かな世間では救われず、強盗に落ちぶれるまで追いつめられていること。
- 4 人間として生まれ、生きるための仕事も多く存在するのに、その道を運ばず、あまりに愚かなせいで強盗の仕事にまかされていること。

12

11

問六 本文の内容と合致するものを次の1～6のうちから二つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は二つとも

9です。

- 1 名僧が泣きながら説教をしたことに強盗のかしらもひどく感動して着物の袖が濡れるほどに涙を流していた。
- 2 名僧は災難に遭ってしまった自分自身の行いを後悔し悲しみ、強盗を救わなくてはいけないと考えた。
- 3 強盗のかしらは、布施を奪った仲間を逃がそうと、奥に立ちふさがるように我が身を盾にして弓矢を構えた。
- 4 強盗たちにすべての物を奪われたとき、名僧はせめてお供の者たちだけでも守ろうとその場を立ち去らせた。
- 5 名僧は、もともと話をするのは得意ではなかったが、強盗たちの今後のために懸命にこの世の道理を説いた。
- 6 名僧は、強盗たちに大切な布施の品々を奪われてすぐあに、奥から降りて強盗たちに澄んだ声で話をした。

問七 「沙石集」の著者・編者とされる人物を、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は

10です。

- 1 鴨長明
- 2 藤原定家
- 3 橘成季
- 4 無任

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

この問題は著作権の都合により掲載できませんでした。

14

13

16

15

- ③ ソウ作
- 4 3 2 1
ソウギョウ時間を短縮する
時計をソウチャクする
楽器をソウソウする
ソウダイな物語を書く
- ① ハイキ
- 4 3 2 1
ハイキンを回収する
優勝シハイを手にする
二酸化炭素をハイシユツする
ハイユウの演技が良い
- ② 特ケン
- 4 3 2 1
選手と監督をケンニンする
大臣がケンセイをふるう
当選ケンナイにとどまる
業績はケンチョウだ

問一 傍線部①③のカタカナにあたる漢字を使用する言葉として最も適当なものを、次の各群の1～4のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **1** **3** です。

- (注)
- 1 吉備津宮五摂社：岡山県岡山市の吉備津神社。摂社は、その神社に付属し、ゆかりのある神を祭っている神社。
 - 2 別当寺：神社に付属しておかれた寺院。
 - 3 庫裏：寺院で食事を調える建物。住職や家族の住む所。
 - 4 吉備：岡山県と広島県東部を含む、歴史上の地名。
 - 5 備中国分寺：岡山県総社市にある寺院。
 - 6 吉備路：岡山市北部から岡山県総社市の一帯の総称。
 - 7 回廊行：縁を回り歩いて修行すること。
 - 8 六根清淨：眼・耳・鼻・舌・身・意の六つの根(感覚)が汚れないようにするという仏教の教え。

18

〔平松洋子「父のビスコ」による〕

17

- 問二 空欄 **Ⅰ**・**Ⅱ** に入れる言葉として最も適当なものを、次の1～5のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。ただし、同じ言葉を二回以上選んではいけません。解答番号は **4**・**5** です。
- 1 多難な
 - 2 空虚な
 - 3 正式な
 - 4 暖昧な
 - 5 悠長な

問三 傍線部(a)～(c)の意味として最も適当なものを、次の各群の1～4のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **6**・**8** です。

- (a) 思慕
- 4 3 2 1
悔しく思うこと
誇りに思うこと
恋しく思うこと
ありがたく思うこと
- (b) 詮索
- 4 3 2 1
細かいところまで知る／＼する
はっきりした答えを求める
疑っている様子で見つめる
さまざまな注文をつける
- (c) あやかっ
- 4 3 2 1
感謝し、記念にして
影響され、同じにして
こたわり、利用して
恵まれ、うれしくなっ

問四 傍線部(1)「今日行かなくては」と背中を押されたのは理由があった」とあるが、その「理由」とはいういことか。その説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **9** です。

- 1 安葬の中になじみを感じさせる祖父の手紙が、つい最近まで誰にも読まれなかったことをあわれに思い、今からでも父の代わりに真如院の庫裏を訪ねて、祖父の願いをかなえたいと強く感じたこと。
- 2 祖父の素直な思いが書かれた手紙を読んだことで、真如院の庫裏で感慨に浸る祖父の様子が鮮明に思い浮かび、思い出の場所の情景を今すぐ確かめたいという思いに駆られたこと。
- 3 生前の祖父の姿がそのまま映し出されたような優しく素朴な手紙を読み、祖父をもっと近くに感じられる真如院を訪れ、子どもたちのような純粋さを取り戻した、という思いに舞われたこと。
- 4 真如院のことが気にかかっていたとき、喜々として父を招こうとする祖父の手紙を読んで、いつも優しく迎えてくれた祖父の姿が思い起こされ、今日行くことが運命のように感じられたこと。

問五 傍線部(2)「心が乱れるまま」とあるがこの時の筆者の心情の説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **10** です。

- 1 記憶とは異なる光景に対するとまどいや、記憶が間違っていたことへの恥ずかしさから、自分が過去に取り残されているように思われて、もつと時間をかけて今の真如院を歩きたいと焦りを感じている。
- 2 祖父を身元と感じられる風景を眺めると、祖父や祖母、その子どもたちが大変な経験をしたという話がなくなく感じられ、幼い頃の平穏に憑かれた自分と彼らを比べ、複雑な感情を抱えている。
- 3 昔よりも簡単に登れる階段やすっかり様子を癒えた竹林、亡くなった祖父の姿を思ううちに、自分自身の変化や長い年月が経過していることを思い知らされ、これまで訪れなかったことを後悔している。
- 4 限られた時間の中で、昔とは変わった光景にとまどい、祖父に関する記憶や幼い頃の自分の経験が次々に浮かんでいき、じつくり味うことができず、ずっと続いている興味がおさまらない状態にいる。

20

19

問六 この文章についての説明と合致するものを次の1～6のうちから二つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は二つとも

11です。

- 1 母と筆者の方言による会話を勢いよく描くことで、母が大切なことを筆者に打ち明けようとしているときの緊迫感を表現している。
- 2 自分の祖父や祖母、その家族構成を具体的に説明する中で、たわいない思ひ出や筆者の感情を自然に盛り込んで表現している。
- 3 タクシーの運転手の形式的なやりとりを描くことで、その他の親族に対する親しみとの違いが強調されている。
- 4 真如院を訪れた日の出来事を、時系列に沿って描いていくことで、少しずつ筆者の心境が変化していることが読み取れる。
- 5 文章中に登場する土地や建物の歴史を案内するように丁寧に説明しながら、その歴史に関する考えをさりげなく主張している。
- 6 訪れている場所の光景を固有名詞を用いて説明しながら、その光景から想起される出来事や感傷的になりがちな心情を描いている。

▶ 文系学部 前期一般選抜入試問題

2月9日 実施

国 語

国 文系前期
語

一次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

この問題は著作権の都合により掲載できませんでした。

2

1

(注)
1 白川静：日本の漢文学者・東洋学者。
2 神威：神による絶対的な力。
3 朱熹：中国南宋の儒学者、思想家。朱子学という新しい儒学を成立させた。
4 陰陽二気：世の中の秩序を構成していると考えられていた陰と陽の二つの気。

問一 傍線部①～⑤のカタカナにあたる漢字を使用する言葉として最も適切なものを、次の各群の1～4のうちそれぞれ一つずつ選択し、その番号をマークしなさい。解答番号は「1」「5」です。

- | | | | | |
|---|---|---|--|--|
| <p>⑤ 線ゴウ</p> <p>5</p> <p>4 3 2 1</p> <p>料理にコウシ料を加える</p> | <p>③ 無シ悲</p> <p>3</p> <p>4 3 2 1</p> <p>ヨウジ用図書の間場</p> | <p>① 集ヤク</p> <p>1</p> <p>4 3 2 1</p> <p>英語の歌詞をワヤクする</p> | <p>④ カイ名</p> <p>4</p> <p>4 3 2 1</p> <p>私は彼の意見にカイギ的だ</p> | <p>② ユウ霊</p> <p>2</p> <p>4 3 2 1</p> <p>ユウキユウの自然を感じる</p> |
|---|---|---|--|--|

(菊地章太「舞臺と日本人―位牌の比較宗教史」による)

4

3

問二 傍線部(a)・(b)の意味として最も適当なものを、次の各群の1～4のうちからそれぞれ一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は6・7です。

- (a) 身も言もない
6
- 1 話の続けようのない
2 簡潔すぎて説明が足りない
3 強引すぎて現実的でない
4 冷淡で受け入れられない
- (b) 既読書
7
- 1 ある事柄に関して個人の見解が書かれた書
2 ある事柄を習得するときに参考になる書
3 ある事柄の専門的な正しい内容を説明した書
4 ある事柄の全体をまとめて説明した書

問三 空欄 1～Ⅳ に入れる言葉として最も適当なものを、次の1～4のうちからそれぞれ一つ選び、その番号をマークしなさい。ただし、同じ言葉は二回以上選ぶわけはしません。解答番号は8・11です。

- 1 あるいは 2 ならば 3 たとえば 4 そのうえ 5 ただ

問四 傍線部①「あの世」に対する思い」とあるが「私た」の「あの世」に対する思いの説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は12です。

- 1 自分の生活を味わい深くしてくれるかもしれないが、その存在は受け入れがたいと感じている。
2 はっきりと存在を認識できないと思いつつも、生活に必要であるという危機感を常に抱いている。
3 確証がなく疑わしさを感ずるも、身近で自分の人生を豊かにしてくれていると思っている。
4 いつもいつの間にか助けられており、その存在をうしろも信じてはいけなく感じている。

問五 傍線部②「中国人にとっての鬼はまったく意味が異なる。あちつでは鬼とは死者のことである」とあるが、これに関する説明として適当でないものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は13です。

- 1 「鬼」という字は、死者の頭を示していると考えられ、鬼頭という白分化した頭蓋骨をかぶった人が、死んだ先祖の代わりとして祀られる場所に座った。
2 「魄」という文字は、死者の「鬼」と死者の頭蓋骨を示す「白」から成ることから、「魄」と「魂」が分離すると内体は現世の地上で消滅するところとされている。
3 人知を超えた存在を示す「神」には「鬼」である先祖の霊は本来含まれていなかったが、のちに子孫に祀られた先祖の霊が神とされ、死者は「鬼神」と呼ばれた。
4 死者である「鬼」と雲を意味する「云」を組み合わせた「魂」が、精神をつかさどるとされ、人に、人の精神は死ぬと本来の場所である天へ帰ると考えられている。

問六 傍線部③「万物」とあるが、次のうち、傍線部の読み方がこの「万」と異なっているものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は14です。

- 1 万難を取り除く。
2 彼の行動は笑止千万だ。
3 巨万の富を得る。
4 万策を使い果たした。

問七 傍線部④「この考え方は先祖の祭祀の場でも重要な意味を持つ」とあるが、どういうことか。その説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は15です。

- 1 世界のすべては自然現象から成立するという考え方によって、先祖の霊の鬼神も合理的な秩序の中に組み込まれ、存在しないのだとされたことで、秩序に基づいた儀式によって同じ気をもつ子孫が先祖を祀らないと、先祖の霊の存在が認められなくなってしまうこと。
2 世帯を合理的秩序によって認識し、根拠のないものは存在しないとする考え方によって、先祖の霊のある鬼神が現象世界の中にはないのだと、気として扱われたことで、同じ気をもつ子孫が家に先祖の霊を祀って現象世界に先祖の霊を呼ぶような儀式が始まったということ。
3 すべては自然現象の一つにすぎないとする考え方によって、先祖の霊である鬼神も子孫と同じ世界に存在する気として扱われようになったことで、先祖の霊と子孫は通じ合った同一の存在と見なされ、先祖の魂魄と先祖の魂魄とがひとつ結びつくようになったこと。
4 区切りのない現象世界ではすべてが自然現象とする考え方によって、先祖の霊である鬼神も子孫と同じ世界に存在と見なされたことで、先祖の霊と子孫は同じ気かよ存在と考えられ、先祖の霊を祀れば儀式で先祖と子孫が交わることができるようになったということ。

問八 傍線部⑤「仏教にかかわるものなかで、これはとわかにくいのもめつたにない」とあるが、どういうことか。その説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は16です。

- 1 位牌は日本の仏教で一般的であるにもかかわらず、その発端が仏教とはあまり結びつかない中国の祖霊信仰であるため、仏教からその意義を見付け出すことが難しいということ。
2 位牌に関しどのような資料を調べてもその起源が見つかからないため、日本では欠かさない存在となっているのに、どのように定着したのか理由が不明のまままだということ。
3 位牌は、葬式や法事を重視する祖霊信仰中心の日本の習慣と結びついて生まれたため、大もこの仏教とは関係がなく、実際に日本の仏教にとっての重要性もいふことができないということ。
4 位牌は先祖の霊魂が宿るとして欠かさないものであるのに、仏教経典や入門書にも記載がないため、僧侶や道徳は昔からの見よう見まねの作法で位牌に向き合っていないということ。

問九 本文の内容と合致するものを次の1～6のうちから二つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は17です。

- 1 十一世紀末の宋代の中国では、身分に関係なく、家族の中に先祖の霊魂に奉仕する役割をする者がおり、その役割のちに位牌になった。
2 死者が完全には消滅していないことを子孫が確認するために墓や位牌があるとすると、人は墓や位牌になるために生きているといえる。
3 墓や位牌は、心と体は、体と心は、体の機能が止まると同時に心も消えさることを意味するという死のうらなと密接に結びついている。
4 死んだあとでも人は消滅しないという考え方は、あの世に永遠に留まることを意味しており、位牌の存在理由と強く結びついている。
5 中国では、人は死ぬと善人も悪人も関係なく死になると考えられているのに対し、日本では、悪人が死後に死になら考えられてきた。
6 私たちの身で死が審判され、自然に死について思いをはせながら先送りしていることを思うと、人は死に開かれている状態といえる。

大問二(古文) 三(現代文) は選択問題です。解答するいずれかの大問の解答欄の右上に必ずマークした上で解答しなさい。
両方の大問に解答した場合、すべての解答が無効となります。

二次の文書は、室町時代の禅僧である一休宗純の逸話を集めた江戸時代の飯本喜子「一休はなし」の一語で、船乗り合つせた山伏の法力と一休の機智の競い合いを描いたものです。これを読んで、後の問いに答えなさい。〔原文の「語」を省略、改変してある〕

「いで、われらが法力にて、此舟のへききふらぐをいのり出して御目につけむ」と、「にこんがら二にせいたかをはじめて、もみにもで折りければ、皆々のりあひのもの共、目と目に見あはせる處に、あんのこく、輪のへききに、たちまちどうの像、火炎をはなつてあはれた。其時山伏は、ふめんとつくりて、おのおのをみたまふか」と申ければ、皆人ふしきの思ひをなしかれ共、一休は更にふしきにもましまさぬふり也。いかに御僧、かゝるきくは如何にし給はん」と、せぐりかけて申ければ、「我がかどくには、身よ水を出して、あの火炎放つて、助をけし見せ。随分折り給へ」とて、彼不動の像の火炎に、小便をしたたかけ給へば、火炎は其まきまきえて、山伏の法力つければ、みな人一体をれして、奇異の思ひをなしかる也。

扱舟よりあがりて、陸路を打つれどころに、むかよりなるほどなる大、山河にひびくばかりにはなでかかれれば、山ふし申やう、「いかに御坊、さきの行くらべにこそまけたり共、あのおそろしいかりをやめて、ただこれへよぶよる法力あらはんが、御僧はいかに上申ける。一休「これはいとやすき事なり、先のりて見たまへ、我等にまかすたまへ」とのたまへば、山伏大いたかの赤木の数をさらりさらりとおしもんで、「いりのこそ折りけるが、可大ははえやます。手もとへ来るなんもなかりければ、縦横や横横かて十文ぞ、一犬の帳とめよ、あびらうんけん、そわかそわか」といへども、いぬははえやます。「一体をかしくおぼしめし、そのき給へ、それはのこと、あびらもうんけんも、そわかも人事にあらず。あの犬のいかりをやめ、たちまちこへ来せん」と、ふところよりひるげのやめ、取出し、かの犬に「め見せて」「ころろころ」とのたまへば、さしめいかる犬なれど、やきめし「目見てしり、くんくんんと尾をふりて来りければ、山ふしも肝をけす。

(注)

- 1 ふどう：不動明王。仏教の信仰対象で、大日如来の化身とされ、迷いや煩悩を取り除く。
- 2 「にこんがら二にせいたか」「せいたか」は不動明王の脇にいる童子の名前。
- 3 もみにもで：揉みに揉んで。数珠を、両手で何度もすり合わせて、の意。
- 4 じふん：淡い顔。

- 5 せぐりかけて：せわしげに詰め寄って。
- 6 大いらたか：平らで角が高く、粒が大きい珠をつなぎあわせた数珠。
- 7 やきめし：焼きむすび。焼きおにぎり。

問一 傍線部(1)の(2)の意味として最も適当なものを、次の各群の1～4のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は1～3です。

- (a) あんのこく
- | | | |
|---|---|---------|
| 1 | 1 | 思いがけず |
| 2 | 2 | いつものように |
| 3 | 3 | 思ったとおり |
| 4 | 4 | 知ったふう |
- (b) 2 更にふしきにもましまさぬ
- | | | |
|---|---|-------------------|
| 1 | 1 | そのうな不思議に思つていらつしやう |
| 2 | 2 | 全く不思議に思つていらつしやう |
| 3 | 3 | また不思議に思つていらつしやう |
| 4 | 4 | 非常に不思議に思つていらつしやう |
- (c) 打つれどころに
- | | | |
|---|---|---------|
| 1 | 1 | いっしょに行く |
| 2 | 2 | ゆつくり行った |
| 3 | 3 | 引つ張つていく |
| 4 | 4 | とんとん進んだ |

問二 傍線部ア「申・イのたまへ」の説明として最も適当なものを、次の各群の1～4のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は4・5です。

- ア 申
- | | | |
|---|---|-------------------------|
| 1 | 1 | サ行上二段活用動詞の未然形で、丁寧の意を表す。 |
| 2 | 2 | サ行上二段活用動詞の連用形で、謙譲の意を表す。 |
| 3 | 3 | サ行四段活用動詞の未然形で、丁寧の意を表す。 |
| 4 | 4 | サ行四段活用動詞の連用形で、謙譲の意を表す。 |
- イ のたまへ
- | | | |
|---|---|------------------------|
| 1 | 1 | ハ行四段活用動詞の已然形で、尊敬の意を表す。 |
| 2 | 2 | ハ行四段活用動詞の已然形で、謙譲の意を表す。 |
| 3 | 3 | ハ行四段活用動詞の連用形で、尊敬の意を表す。 |
| 4 | 4 | ハ行四段活用動詞の連用形で、謙譲の意を表す。 |

問三 傍線部(1)「ふどうの像」とあるが、この不動の像はどうか。その説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つを選び、その番号をマークしなさい。解答番号は6です。

- 1 一体の命令で、不動の像を消すために人々が折つたことで水が大量にかけられ、山伏の法力も効果がなくなり像が消滅した。
- 2 一体が不動の像の放つ火炎に小便をかけると、火炎も像もあっさり消失し、山伏は像が出現する力がなくなった。
- 3 一体と人々が懸命に不動の像を消すように折つたことで、山伏も法力で抵抗できず、火炎に小便をかけてそのまま像も消滅した。
- 4 法力よりも強い力を身に得た一体が不動の像の放つ火炎に小便をかけると、山伏が対抗する間もなく、一瞬で消滅した。

問四 傍線部(2)「かゝるきくは如何にし給はん」とあるが、この部分の説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つを選び、その番号をマークしなさい。解答番号は7です。

- 1 山伏が、自分の法力を誇って、一体に対して挑発をしている。
- 2 山伏が、一体の不思議な技に驚いて、種明かしを求めている。
- 3 周りの人々が、山伏のような法力が見たいと、一体に頼んでいる。
- 4 周りの人々が、山伏の法力を称賛し、一体を見下している。

問五 傍線部(3)「一体をかしくおぼしめし」とあるが、それはなぜか。その説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つを選び、その番号をマークしなさい。解答番号は8です。

- 1 一体には大を思ひのままにできる知恵や力があるのに、山伏が一体を見下したま何もせず、ひたひたにあっていたから。
- 2 大「一体になつていゝことを知らず、山伏が大に気に入らなうと法力を用いて、さきに嫌われていたから。
- 3 強い法力をもつ一体なら簡単に大をおとなしくさせるのに、山伏が意地を張つて呪文を唱え、結局失敗しているから。
- 4 大の好物を用いれは怒りを鎮めて呼び寄せられるのに、山伏が何の効果もない呪文を唱え続けていたから。

問六 本文の内容と合致するものを次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は9です。

- 1 焼きおにぎりを食べた大が、一瞬で機嫌よく変わったので、山伏はさらに、一体に対する疑いを深めた。
- 2 一体は、山伏が法力を用いて起こしたことに、驚いたり動揺したりすることはない。
- 3 一体は、山伏が危険な目に遭うことを心配して、大の対応は自分任せようように諭した。
- 4 山伏は、一体に負けたことを認めながらも、一体と勝負することをおもしろく感じていた。

問七 「一休はなし」と同じ江戸時代に成立した作品を、次の1～6のうちから二つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は二つとも10です。

- 1 『風姿花伝』
- 2 『東照宮紀行』
- 3 『折たく楽の記』
- 4 『増鏡』
- 5 『玉勝間』
- 6 『夜半の寝覚』

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

この問題は著作権の都合により掲載できませんでした。

13

14

〔竹西寛子「山河との日々」による〕

- (注)
- 1 円照寺：奈良市にある寺院の名前。つぎに出てくる「白毫寺」も同じ。
 - 2 庫裏：寺院で食事を用意する場所。住職などの居住する場所。
 - 3 国見：為政者が高い所から治める土地の地勢や人民の生活を見ること。もとは農耕儀礼の一つだった。
 - 4 多摩川：関東平野の南部を流れる川。
 - 5 耕転機：田畑を耕すための農業機械。
 - 6 尾花：ススキの別名。
 - 7 丹後の由良川：丹後は、京都府北部。由良川は、京都・滋賀・福井の府県境にある三国岳から若狭湾まで流れる川。
 - 8 若狭湾：福井県西部から京都府北部にかけての日本海の湾。
 - 9 山陰本線：山陰本線、舞鶴線、宮津線はいずれも京都府を走る鉄道路線の名前。
 - 10 綾部：京都府の中央北寄りに位置する市。
 - 11 桶掛：刈り取った稲を桶木などに掛けて干しているもの。

16

15

問一 傍線部①～③のカタカナにあたる漢字を使用する言葉として最も適当なものを、次の各群の1～4のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **1**、**3** です。

- | | |
|---|--|
| <p>① オトリ
1 業務のホウシウを受け取る
2 首相が欧州諸国をレキホウする
3 近畿地方は文化遺産のホウコダ
4 ホウチョウで野菜を切る</p> | <p>② 自エ
1 センエイ的な芸術を鑑賞する
2 エイビンな感覚を持っている
3 はめられてゴウエイに感じる
4 ユウエイ禁止の区域に注意する</p> |
|---|--|

問二 空欄 1、2 に入れる言葉として最も適当なものを、次の1～6のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。ただし、同じ言葉を二回以上選ぶてはいけません。解答番号は **4**、**5** です。

- 1 端止に 2 巧妙に 3 緩慢に 4 惚病に 5 素直に 6 凡庸に

問三 傍線部(a)～(c)の意味として最も適当なものを、次の各群の1～4のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **6**、**8** です。

- | | |
|---|---|
| <p>(a) まかなって
1 丁寧に手入れして
2 少しでも整えて
3 お供えをして
4 間に合わせて</p> | <p>(b) 悲しいない
1 見るような美しさが
2 しみじみとした物悲しさが
3 人間らしい優しさが
4 ひりひりするような苦しさが</p> |
|---|---|

問四 傍線部(1)「土の恵み」ということについて、為政者はどれだけ分かってきているのかと言いたげであったとあるが、これはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **9** です。

- 1 農家の人が丹精込めて育てた土にはお金では計り知れない価値があるのに、為政者が農業や土の重要性を理解していないのではないかとという農家の人の不満が表れているように見えたということ。
2 農家の人が長い時間をかけて土を改良しているにもかかわらず、為政者はその努力をねぎらうこともなく、金銭的な援助に対する理解もないことに、農家の人が怒っているように見えたということ。
3 農家の人は農家だけではなく、人びとが豊やかに暮らせる風景や自然豊かな環境を作る役割もあるのに、その役割を理解しようしない為政者に、農家の人が抵抗しているように見えたということ。
4 農家の人が育てた土は自然の風景を構成し社会を豊かにしているという現実を理解しながらも、自分に都合のよい開発しか興味がない為政者に、農家の人がひどく嘆いているように見えたということ。

問五 傍線部(1)「山にも海にも川にも近い田園に焚火を見たことで、私の平安はいっそう深いものになった」とあるが、それはなぜか。その説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **10** です。

- 1 故郷と似た土地の田園の焚火を見たことで、今の自分は昔とは異なる環境にいたが昔と変わらず自分らしく生きていることを再確認し、自分に自信が持てたから。
2 故郷に似た土地の田園の焚火を見たことで、自分が自然の風景を持つ土地で生活した感覚を時間とともに失っていくことを、運命として受け入れる勇気がわいたから。
3 故郷に似た土地の田園の焚火を見たことで、自分の故郷の希少性に対する誇らしきを感じ、これからは自然に恵まれた土地に引き寄せられる運命だと実感したから。
4 故郷に似た土地の田園の焚火を見たことで、自分が故郷のような自然や田園に恵まれた環境で生まれ育った感覚が呼び起こされ、めぐりあわせに幸せを感じたから。

問六 この文章についての説明として最致するものを次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **11** です。

- 1 いくつかの田園風景に関するエピソードを時間経過にあわせて描くことで、喪失感や悲嘆が大きくなっていくことを強調している。
2 いくつかの異なる田園風景とそれらに関する人々の心情や具体的な出来事を詳しく説明することで、その風景の魅力を強調している。
3 いくつかの田園風景に関して状態や変化を比較しながら描くことで、自然や田園の果たす役割の切実さを淡々と説明している。
4 いくつかの田園風景に関するエピソードやそのときに生じた心情や考えを記述し、その風景が持つ力を静かに訴えている。

一次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

この問題は著作権の都合により掲載できませんでした。

2

1

(注)

- 1 村田珠光：室町時代中期の茶人。茶道の開祖。
- 2 武野紹鷗：室町時代後期の茶人。
- 3 千利休：戦国時代・安土桃山時代の茶人。精神的充足と質素で静寂な境地を求めるわび茶を完成させた。
- 4 古田織部：安土桃山時代の茶人。
- 5 小堀遠州：江戸時代初期の茶人。大名。
- 6 茶道口や給仕口：茶道口は亭主の出入口、給仕口は点茶・抹茶を立てること、炭点前（炭を炉に入れること）以外で亭主が使う出入口。
- 7 腰張り：壁などに紙、布をはること。
- 8 付書院：床の間の脇の縁側に設けられる欄。
- 9 鎖の間や次の間：「鎖の間」は炬を切り頭で茶室をつくる茶室。「次の間」は主要な茶室に隣接する茶室。
- 10 『茶道四祖伝書』：江戸時代初期の松尾久政による茶道の書。利休・織部・細川・遠州の言行が記されている。
- 11 禅利：禅宗の寺。
- 12 圓堂天心：明治時代の思想家。
- 13 福韻：室内、門戸に掛ける長い額。
- 14 手燭：持ち運び用に柄をついたろうそく。
- 15 桂離宮：京都市にある離宮。日本建築と庭園の美で知られる。

(小堀宗実「茶の湯の不思議」による)

4

3

問一 傍線部①～⑤のカタカナにある漢字を使用する言葉として最も適当なものを、次の各群の1～4のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **1** ～ **5** です。

- | | | | | |
|--|--|--|---|---|
| <p>⑤ チョウウ戦</p> <p>4 3 2 1</p> <p>敵をチョウウハツする</p> <p>チョウウゼツ技巧による演奏</p> | <p>③ セン線</p> <p>4 3 2 1</p> <p>民衆をセンドウする</p> <p>飛行機がセンカイする</p> | <p>① モヨナす</p> <p>4 3 2 1</p> <p>一國のサイショウを務める</p> <p>失敗のキユウサイ措置</p> | <p>② 総シヨウ</p> <p>4 3 2 1</p> <p>シヨウサイな説明を行う</p> <p>ムシヨウで本を提供する</p> <p>紋物のショウショウを調べる</p> <p>教授のショウゴウをよそられる</p> | <p>④ 発キ</p> <p>4 3 2 1</p> <p>契約をハキする</p> <p>宝右のキドを確かめる</p> <p>キケンを買す</p> <p>管弦楽のシキシヤ</p> |
|--|--|--|---|---|

5

問二 傍線部(a)・(b)の意味として最も適当なものを、次の各群の1～4のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **6** ・ **7** です。

- | | |
|--|---|
| <p>(a) たたまた</p> <p>6</p> <p>4 3 2 1</p> <p>わずかに付けた</p> <p>2 さらさらと流した</p> <p>3 勢いよくはねのけた</p> <p>4 いっぱいに満たした</p> | <p>(b) 塵埃</p> <p>7</p> <p>4 3 2 1</p> <p>寂しく、物足りないもの</p> <p>2 珍しく、進歩的なもの</p> <p>3 汚く、わずらわしいもの</p> <p>4 苦しく、恐ろしいもの</p> |
|--|---|

6

問三 空欄 **1** ～ **11** に入れる言葉として最も適当なものを、次の1～6のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。ただし、同じ言葉を二回以上選ぶではいけません。解答番号は **8** ～ **11** です。

- | | | | | | |
|-------|------|------|------|------|-------|
| 1 無限大 | 2 一隅 | 3 根本 | 4 究極 | 5 幅成 | 6 最低限 |
|-------|------|------|------|------|-------|

問四 傍線部(1)「小間と広間の違い」とあるが、これはどのような違いか。その説明として適当でないものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **12** です。

- 1 小間は基本の点陣畳と客畳から構成されてかかんで移動するが、広間は小間に連なり、頻りの間や次の間を設けたりしているものがある。
- 2 小間は二畳の茶室を作るなどした利休によって完成したもので、広間はそれよりあとの薄茶が流行した江戸時代に盛んになったものである。
- 3 小間は亭主と客一人が緊張感をもって向かい合うような広さに限定されるが、広間の広さは自由で様々な設備を付属させることができる。
- 4 小間は客も亭主も立ち上がらないことが前提のため、すべて造りが低いが、広間は天井が高く出入口は一般的な高さになっている。

問五 傍線部(2)「名座」の「名」と同じ意味で傍線部の「名」が使われているものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **13** です。

- 1 会員から除名する
- 2 これは名門の学校だ
- 3 この感情は名状しがたい
- 4 連名でサインする

問六 傍線部(3)「縦横約二尺(約六十センチ)程度の引き戸です」とあるが、開口がこのような大きさであるのはなぜか。その説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **14** です。

- 1 入口を狭くして世間と交わる空間を減らし、茶室に入る人たちがすべてが対等になるような姿勢や扱いにさせるため。
- 2 入口を小さくして高い戸の持つ威圧感を抑制すると同時に日常性を排した空間を作り、皆が緊張感を持って入るようになるため。
- 3 入口を狭くして圧迫感を高め、俗世間の雰囲気締め出すことで、どんな立場の人でも相手を敬うようにさせるため。
- 4 入口を小さくして厳かな茶室に面白みを加え、現実離れた茶室の面影を醸成して、その場にいる人々を快適にさせるため。

7

問七 傍線部(4)「茶の湯の空間は、露地と茶室が一体となって構成されています」とあるが、これはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **15** です。

- 1 露地の塀や門、戸によって外界から切り離された一つの大きな空間が形成され、そこにある山里を模した景色と道程がすべて茶室の入口に一筋に結ばれることで、露地やそこにいる人全員を含めて茶室という非日常的空間が完成するということ。
- 2 露地を茶室の入口全体と見立てて、塀や門、戸によって現実社会と断絶させ、山の険しい光景や難所のある道程を訪れる者に乗り越えさせて茶室にふさわしいかたちを見極めることで、完全に日常性をそぎ落とし純粋な茶室が完成するということ。
- 3 露地にある門や戸をくぐることで亭主が現実から距離を置いて心身を整え、露地の山居を意識した趣や工夫を凝らした道程によって客の茶の湯に行する期待や尊敬の念を呼び起こすことで、非日常的で清らかな茶室の空間が完成するということ。
- 4 露地のいくつもの門や戸、塀によって生活空間と茶室を完全に隔て、その露地に在る山里に似せた景色や道程を茶室へ入っていく者に体感させて心や体を落ち着いた状態にすることで、世俗と断絶した茶室の空気が完成するということ。

8

問八 本文の内容と合致するものを次の1～6のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は一つとも **16** です。

- 1 村田宗珠の理想に共感した利休は精神性を追求した茶の湯の作り方を求めたが、古田織蔵は精神性に傾きすぎることには否定的であった。
- 2 茶の湯の厳格さを求めた利休の時代は、茶室までの移動を目的として飛石を配することよりも、より「景」を重視して露地を造った。
- 3 茶室は、もともと生活の様々な場面で利用される座敷を茶室としての機能に特化させたもので、茶室自体が茶の湯の道具であるといえる。
- 4 露地にある前の付いた石はそれぞれ役割を持っており、その中には踏台や関守など方向指示や通行止め案内を果したものである。
- 5 茶室は禅宗の僧侶の茶室のような場を市中に通ったことが革新的で、禅宗の影響は丈間という四畳半の広さが基本である点にも見られる。
- 6 結露の建った四畳半の茶室の影響で、しばらくの間四畳半以下の小さな茶室しか許可されなかったため、四畳半は小間に分類されている。

大問二(古く)三(現代文)は選択問題です。解答するいずれかの大問の解答欄の右上に必ずマークした上で解答しなさい。
両方の大問に解答した場合、すべての解答が無効となります。

二 次の文章は、「大和物語」の一話です。これを讀んで、後の問いに答えなさい。(原文の一部を省略・改変してある)

むかし、津の國にすむ男ありけり。それをよばふ男ふたりむありける。ひとりはその國にすむ男、姓はうばらになむありける。いまひとりは親の國の人になむありける。姓はちぬとなむひける。かくてその男ども、としよはひ、顔かたち、ただおなじばかりになむありける。「心ざしのまさらむに、そはあはめ」と思ふに、心ざしのほど、ただおなじやうなり。暮るればもともに来あひ、物おこすればただおなじやうにおす。いづれまされりいふくもあらず。女思ひわづらひぬ。この人の心ざしのおかならば、いづれにもあふまじけれど、これもかれも、月日を経て家の門に立ちて、よづに心ざしを見えければ、しむびぬ。これよりもかれよりも、おなじやうにおこする物ども、いづれにもいれねど、いろいろにもち立てり。親ありて、「かく見くるしく年月を経て、人の嘆きをいたづらにおふもいとほし、ひとりひとりにあひなば、いまひとりが思ひは絶えなむ」といふに、女、「ここにこそ思ふに、人の心ざしのおなじやうなるになむ、思ひわづらひぬる。さらばいかすべし」といふに、そのかみ、生田の川のつらに、女、平張をうちてふにけり。かかれは、そのよはひ人どもを呼びにやりて、親のいふやう、「たれも御ざしのおなじやうなれば、このをさなき者なむ思わづらひにへる。今日かまれ、このことを定めてむ。あるは遠き所よいます人あり、あるはこながそのいつきかきなりなし。これもかれもいとほしきわざなり」といふ時に、いとかしてよるびあへり。申さむと思ひたまふやうは、この川に浮きてはる水鳥を射たまへ。それを射あてたまへむ人に奉らむ」といふ。

(注)

- 1 津の國：摂津の國の古い呼び名。現在の兵庫県東部と大阪府北西部。
- 2 和泉の國：現在の大阪府南部。
- 3 とりもいれねど：受け取りもしないけれど。
- 4 生田の川のつら：生田川のほとり。生田は、現在の兵庫県神戸市。
- 5 平張をうちて：天幕の天井をたいらに張った飯小屋を建てて。
- 6 いたつき：苦労。

問一 傍線部(a)～(c)の意味として最も適当なものを、次の各群の1～4のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は1～3です。

- (a) 物おこすれば
1 人を怒らせるときも
2 物を立てるときも
3 人を起こすときも
4 物を贈るときも
- (b) 思ひは絶えなむ
1 あきらめはしない
2 きつとあきらめるかろう
3 あきらめるのがよい
4 すでにあきらめている
- (c) みにけり
1 帰っていった
2 住んでいた
3 集まっていた
4 立ち尽くしていた

問二 傍線部「はべる」・「イ」申さの説明として最も適当なものを、次の各群の1～4のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は4・5です。

- ア はべる
1 ラ行四段活用動詞の終止形で、丁寧の意を表す。
2 ラ行四段活用動詞の連体形で、丁寧の意を表す。
3 ラ行変格活用動詞の連体形で、丁寧の意を表す。
4 ラ行変格活用動詞の連体形で、謙譲の意を表す。
- イ 申さ
1 サ行四段活用動詞の未然形で、尊敬の意を表す。
2 サ行四段活用動詞の未然形で、謙譲の意を表す。
3 サ行四段活用動詞の連用形で、尊敬の意を表す。
4 サ行四段活用動詞の連用形で、謙譲の意を表す。

10

問三 傍線部「しむびぬ」とあるが、これはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は6です。

- 1 男たちの態度がひどいものであったので、どちらとも結婚するつもりはなかったのに、様々な思いを感じ取ることができるようになったので、女はどうすればいいかわからなくなったということ。
- 2 男たちの身分が低ければ、どちらとも結婚しようと思わないのに、どちらも身分が高くてれた人と感じられたので、女はどうすべきかわからなかったということ。
- 3 男たちに対する気持ちがあるほどないなら、どちらとも結婚しようと思わないのに、どちらのことも深く愛していたので、女はどうすればよいかわからなかったということ。
- 4 男たちの愛情がいかにげんごあれば、どちらとも結婚するつもりはないのに、どちらとも何かと思いが深いことがわかったので、女はどうすることもできなかったということ。

問四 傍線部②「人の嘆きをいたづらにおふもいとほし」とあるが、この部分の説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は7です。

- 1 女の親が、男たちが女の嘆きを無意味にその身に負っているのは気の毒だと言っている。
- 2 女の親が、女が男たちの嘆きを無意味に抱え続けているのがかわいそうだと言っている。
- 3 女の親が、女が女自身の嘆きをむなく抱え続けているのが気の毒だと言っている。
- 4 女の親が、男たちが男たち自身の嘆きをむなしその身に負っているのはかわいそうだと言っている。

問五 傍線部③「このことを定めてむ」とあるが、どのように決めるのか。その説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は8です。

- 1 どちらの男が川の水面にいる水鳥を射ることができるかで決める。
- 2 どちらの男がここに限りなく暮らし続けることができるかで決める。
- 3 どちらの男が先に水に浮く水鳥を射て女に渡すことができるかで決める。
- 4 どちらの男がここでずっと暮らし続けても女を困らせないかで決める。

問六 本文の内容と合致するものを次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は9です。

- 1 女に言い寄った男二人は姿がそっくりで、年齢や生まれた場所もすべて共通していた。
- 2 男たちは長年女のもとへ通い続け、ものを贈るときには話し合せて同時に渡していた。
- 3 女の親は女に頼まれて、男たちを呼び寄せて、狐み事をついに解決しようとした。
- 4 女の親に呼ばれた男たちは、女の親の提案を聞いて互いにいへん喜び合った。

問七 「大和物語」(同じ時代に成立した作品を、次の1～6のうちから二つ)を選び、その番号をマークしなさい。解答番号は二つとも10です。

- 1 『源氏物語』
- 2 『平家物語』
- 3 『金葉和歌集』
- 4 『蜻蛉日記』
- 5 『野ざらし紀行』
- 6 『花川草紙』

12

11

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

この問題は著作権の都合により掲載できませんでした。

14

13

(五木寛之「人生の目的」による)

16

15

(注)

- 1 業病：職業の報いがかからなかった難病。
- 2 大川の町：筆者は、大川の町と同じ京後地方の福岡県八女市に住んでいた。
- 3 師範学校：かつて存在した教員養成のための学校。「給費生」は学費を学校や団体などから支給されている生のこと。
- 4 平田篤胤や賀茂良通：ともに江戸時代の国学者。
- 5 西田幾多郎：明治から昭和期の日本の哲学者。
- 6 ヘーゲル：十八、十九世紀ドイツの哲学者。
- 7 石原莞爾：昭和期の陸軍軍人。
- 8 恩給証書：国の恩給を受けることができることを証明する書類。
- 9 プロレタリアート：資産をもたず、労働で得た賃金で生活する階級。

問一 傍線部①③のカカナにある漢字を使用する言葉として最も適当なものを、次の各群の1～4のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **1**、**3** です。

- | | |
|-----------------|----------------|
| ① 新コッ | ② 後タイ |
| 1 地位がコウカクする | 1 タイマンな動きを注意する |
| 2 オンコウな性格 | 2 タイレフを組んで進む |
| 3 コウリョウとした自然 | 3 この映画はタイクツだった |
| 4 劇団が地方でコウギョウする | 4 国家のアンタイを祈る |

問二 空欄①、②に入れる言葉として最も適当なものを、次の1～4のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。ただし、同じ言葉を二回以上選ぶはいけません。解答番号は **4**、**5** です。

- | |
|----------------|
| ③ メダまれた |
| 1 国旗をケイヨウする |
| 2 規則の厳守をケイハツする |
| 3 ケイトウの異なる生き物 |
| 4 ゴケイ的な関係で結ばれる |

問三 傍線部(a)の(b)の意味として最も適当なものを、次の各群の1～4のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **6**、**8** です。

- | | |
|-------------------|---------------------|
| (a) 疑似 | (b) 高嶺の花 |
| 1 ところどころ間違っていること | 1 それはど魅力がなく関心を持ってない |
| 2 単なる真似にと過ぎないこと | 2 自分とはかけ離れて目に入らない |
| 3 いいかげんで信頼できないこと | 3 力を尽くすほどの価値がない |
| 4 限りなく真実に近く感じることに | 4 ただ眺めるだけで手に入らない |

18

問四

傍線部①「そんな父親の、最後に得た(人生で大事なものが)(手に職をつける)ことだった」とすれば、それはそれでひとつの立場といえるだろう」とあるが、この部分の筆者の心情の説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **9** です。

- 1 最も大事なものは手に職をつけることだという父の考えは、かつて熱心に教養を身に付けた筆者が、知識人としての視点から戦後自身を経験を深く察したうえで生み出した人生の真諦なのだから、経験の少ない自分はずっと反論でできず、そのまま従うしかない。
- 2 半生をありふれた知識人として過ごした父親が、手に職をつけることを重視するようになったのは、戦後は知識では職にありつけず、家族に苦しい思いをさせた後悔によるものなのだから、そんな父の思いを考えると自分の希望を強く主張できない。
- 3 手に職をつけることが大事だという父の考えは、社会情勢に翻弄され、勉学に励んだ経験や知識人としての経歴がたいして役に立たなかったという強い実感から導き出されたもので、自分なりに人生についての考えはあるが、父の主張として受け入れることができない。
- 4 知識人でありながら戦争で大きく挫折するといふ当時の人としては一般的な人生を歩んだ父にとって、手に職をつけることは達成の難しい希望で救いのなるだろうから、自分の大学に行きたいという願いと同じだと思つて、父の主張に反発するとは感情的に難しい。

問五 傍線部②「この肉親の絆というやつは、じつに厄介なものである」とあるが、筆者がこのように考えるのはなぜか。その説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **10** です。

- 1 肉親の存在を普段は忘れていても、どこかにいるという存在感と彼らから愛情や優しさを与えられたという事実はずっと消えないために彼らを元気に捨てることができず、ともすれば会いにくくなる自分に嫌悪感がわいていくから。
- 2 肉親は互いに複雑な感情を抱えるもので、たとえ愛情がなくても彼らへの責任感から金銭的にも精神的にも自由になれず、その生死すらも自分にかかっているという重荷を感じるため、家族の結びつきを主張されるとさら増しみが募っていくから。
- 3 肉親との関係は容易に断つことも忘れることもできず、常に彼らと自分を比較し、相手の存在が自分の成長や進路を妨害していることに気づかされるようになるため、肉親のすばらしさを生感するほど、劣等感と自分のよさにくささを感じられるから。
- 4 肉親と実際的なかわりがないながらも、精神的には永遠に解放されるとはなく、肉親の絆に縛られているため、肉親の愛を簡単に断つにしのびないものだから、自分の冷酷さや利己的なあり方を突きつけられて居心地が悪くなるから。

問六 筆者の考えと合致するものを次の1～4のうちから一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **11** です。

- 1 人と人との関係には、困難を分かち合った体験が重視され、離れた家族よりも友人との絆が強く感じられる場合もある。
- 2 運命をともにして自分を支えるような関係性を誰とも築けない苦しみから逃れるための手段には、出家や死しか残されていない。
- 3 肉親の死を願った体験のない人は、家族が原因で生活が困難した体験がなく、幸福に生きている人であるといえるかもしれない。
- 4 家族であれ他人であれ、人と人をつなぎとめるのは、困難なときに優しくされた記憶や対立を経て強くなった情愛である。

20

19